

# 2008 年度スローガン（案）

八戸青年会議所

「すべてはひとつ」

～ 人とまちの調和の実現に向けて～

青森ブロック協議会

気品と気概溢れる美しき森が真のOMOIYARI精神を培う

「気高き日本」の創造に向けて青い森からのメッセージ

東北地区協議会

NO！SURRENDER！！東北

あきらめずに前に進め！！

～ 地域から頼られ求められる「東北」JAYCEE」を創る～

日本青年会議所

高い志と使命感による

ローカルコミュニティー復活！

「気高き日本」の創造！



## 2008年度 日本JC・地区・ブロック出向者(案)

[出 向 先]	[役 職]	[氏 名]
<b>日本青年会議所</b>		
全国大会運営会議	副議長	小山直也
総務委員	運営幹事	笹垣大蔵
全国大会運営会議	小幹事	安田晃樹
セーフティネット構築委員会	委員	石橋伸之
全国大会運営会議	委員	大久保英樹
全国大会運営会議	委員	小泉輝美
全国大会運営会議	委員	田中節穂
全国大会運営会議	委員	豊田貴光
全国大会運営会議	委員	夏堀嘉一郎
全国大会運営会議	委員	沼畑文博
JC運動発信会議	委員	山田知
公益法人格取得推進会議	委員	中山かおる
総務委員	委員	佐々木利幸

### 東北地区協議会

監	事	石橋信雄
東北組織変革実践特別会議	副議長	中山かおる
ブロック支援特別委員会	副委員長	苔米地俊彦
総務・東北JAYCEE力発信委員会	副委員長	山本徳彦
「気高き東北」創造委員会	委員	河村忠憲
東北ゼミナール委員会	委員	清水隆仁
東北ゼミナール委員会	委員	田守拓巳

### 青森ブロック協議会

監	事	石鉢明
「気高きあおもり」創造委員会	委員長	杉本紀之
L O M 支援委員会	副委員長	山内一彦
「気高きあおもり」創造委員会	運営幹事	寺沢奈美子
「気高きあおもり」創造委員会	委員	上村克彦
L O M 支援委員会	委員	菊池潤司
会員大会プロデュース委員会	委員	上野裕泰
総務・組織連携委員会	委員	松本徳吉
アカデミ一大学	塾生	加藤徹
アカデミ一大学	塾生	高橋利彰
アカデミ一大学	塾生	田中満夫
アカデミ一大学	塾生	田村英夫
アカデミ一大学	塾生	永洞健子
アカデミ一大学	塾生	林俊子
アカデミ一大学	塾生	山田一伸



# 2008年度 (社)八戸青年会議所 組織表 (案)

執行部及び常任理事	
理事	大館 一法
副理事	小山 直也
副理事	石橋 伸之
副理事	苫米地 俊彦
副理事	横橋 一郎
専務理事	高橋 誠
副専務理事	中野 正信
理事兼50周年準備室担当	北村 寛也
理事兼50周年準備室担当	山田 修也
理事兼50周年準備室担当	八田 道長
理事兼50周年準備室担当	河村 忠憲
理事兼50周年準備室担当	菊池 潤司
理事兼50周年準備室担当	三上 斉幸
理事兼50周年準備室担当	工藤 裕也
理事兼50周年準備室担当	河原木 琢也
理事兼50周年準備室担当	稲塚 信行
理事兼50周年準備室担当	清水 隆仁

役員	
直前	石鉢 明
顧問	石橋 信雄
監	橋本 よし子
監	山本 徳彦

出向理事	杉本 紀之
------	-------

運営室	
総務委員会 ( 9名 )	
委員長	林 俊子
副委員長	荒瀬 武彦
幹事	中村 剛
委員	工藤 晴奈
委員	白濱 真奈美
委員	杉本 紀之
委員	寺沢 奈美子
委員	長谷川 義剛
委員	宮治 隆広
広報委員会 ( 9名 )	
委員長	日山 錠治
副委員長	佐々木 利幸
幹事	苫米地 孝洋
委員	片谷 吉邦
委員	杉本 秀直
委員	竹高 三佳子
委員	早狩 宏之
委員	平野 晴之
委員	松本 康孝

ひとつづくり室	
会員開誘委員会 ( 7名 )	
委員長	橋本 忠朗
副委員長	村田 信巳
幹事	田守 拓
委員	小泉 輝美
委員	高松 明
委員	中山 かのる
委員	夏堀 嘉一郎
ラブふるさと委員会 ( 17名 )	
委員長	飯田 和雄
副委員長	野沢 利也
幹事	山田 伸彦
委員	淡路 俊菜
委員	泉 彩英
委員	掛端 二蔵
委員	笹垣 大蔵
委員	島守 雅之
委員	城下 弘幸
委員	千葉 輝啓
委員	月籠 元
委員	中西 一樹
委員	森川 毅
委員	安川 貴志
委員	山田 勝寿
委員	吉野 知剛
委員	剛一郎

まちづくり室	
おまつり委員会 ( 17名 )	
委員長	若宮 崇哉
副委員長	榎 純
幹事	佐々木 悦
委員	大浦 誠之
委員	小山 哲生
委員	木村 孝
委員	工藤 厚史
委員	小泉 純一
委員	佐藤 学
委員	田中 満夫
委員	田村 英
委員	新田 健志
委員	沼田 忍
委員	橋本 和吉
委員	松村 徳芳
委員	山本 邊勇志
商部州委員会 ( 11名 )	
委員長	鶴 桂
副委員長	浄法寺 幸一
幹事	木村 米彦
委員	大橋 俊裕
委員	小幡 干司
委員	工藤 真純
委員	坂下 清樹
委員	高橋 芳文
委員	沼田 和彦
委員	廣田 一
委員	山内 彦

50周年準備室	
50周年発信委員会 ( 11名 )	
委員長	北山 光緑
副委員長	田中 節穂
幹事	久保田 有紀子
委員	上村 克彦
委員	上野 裕泰
委員	金入 弘至
委員	後藤 光正
委員	菅田 稻太郎
委員	番地 紀成
委員	安田 晃樹
委員	吉田 広城
未来構想委員会 ( 11名 )	
委員長	長澤 尊
副委員長	鹿糠 博美
幹事	小澤 一雅
委員	青池 俊司
委員	石橋 光一郎
委員	越後林 寛之
委員	大久保 英樹
委員	河原木 幸樹
委員	小林 寛庸
委員	坂本 賀樹
委員	大坊 直樹

全国大会精励室	
全国大会精励委員会 ( 11名 )	
委員長	永洞 健一
副委員長	五十嵐 昌徽
幹事	加藤 正宏
委員	一戸 裕
委員	伊藤 利彰
委員	高橋 貴光
委員	豊田 賢治
委員	中川原 真一
委員	中野 沢工
委員	山田 陽介

## 2008年度 理事長基本方針（案）

「私たちは何の為に生まれ、何の為に生きるのか」。誰でも一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。人は一人ひとりに生まれてくる目的があり、この世に生きる目的があると考えます。その目的とは、真に在りたい自分を選択し創造し続けることであると信じます。これまで選択してきた結果が現在の自分であり、現在の自分をしっかりと受け入れ、その上で改めて自分の進むべき道を選び行動することが、真に在りたい自分に近づくことであると考えます。このことは青年会議所運動においても同様であり、一人ひとりの意志と行動が重要です。

我々を取り巻く現状は、安全や安心が崩れ、心の荒廃や環境の悪化、戦争やテロなど様々な問題を抱えています。これらの問題は分離・対立的に捉える心の在りようが原因のひとつであり、現在の世界は私たち一人ひとりの意志と行動の総和として存在していると考えます。それは影響の大小があるとしても、また過去や現在、未来という時間の繋がりの中で「すべてはひとつ」なのです。だからこそ、このまちの問題や危機を真摯に受け止め、地域循環型の持続可能な社会に変えていくことが必要です。未来の子ども達に、自身や互い、そして自然やすべてと調和する住みよいまちとして引き継がなければなりません。調和とは自らが生かされていることに感謝し、自らも他を生かそうとする報恩に基づく心や行いです。この目には見えない結びつきを大切にしたいと考えます。

青年会議所は明るい豊かな社会の実現を目的に、まちづくり、ひとづくりを行う団体です。また八戸青年会議所では昭和50年から「ラブはちのへ」運動を通じ、精神と経済が自立した地域社会を目標に、広く市民意識高揚運動を展開してまいりました。この運動は青年会議所の社会的責任や、このまちの為に自分は何が出来るのかというテーマのもと生まれました。このまちを深く知ることによりまちを愛することに繋がる「知即愛」の理念のもと、これからもまちに根ざし、率先して多くの市民と共にこのまちを創造してまいりたいと考えます。2008年度には新たな公益法人制度が施行されるなか、公益社団法人格を取得し、今まで以上に公益性を高め、まちの信頼に応えられる組織を目指すことが重要です。

八戸青年会議所は2009年に創立50周年を迎えます。これまでを振り返り、このまちと八戸青年会議所の在るべき未来を模索していきます。そのなかで大切なことは、使命感と責任感を持ち市民と共に実践する「ラブはちのへ」運動を更に推進することです。その為にも市民と共有化する未来ビジョンが必要であり、このまちの抱える問題を調査・研究し、まちと住む人との結びつきを強く感じるまちづくりをしたいと考えます。

2010年度開催を目指した全国会員大会誘致運動は、まさにその体験を通じてひとつの目標に向かう組織の在りようと、一人ひとりの頼もしさを強く感じると共に、様々な課題と多くの可能性を我々に提示しました。これらへの取り組みは、まちづくりに繋がる「ラブはちのへ」運動を新たなステージへ進める大きな推進力となります。本年度も誘致運動を継続し、全国のメンバーに具体的に発信する内容をより深め、大都市ではなく地方都市だからこそ発信出来る大会を目指したいと考えます。大会誘致を通じて、内外の様々な視点から地域を見つめ直し、まちづくりの契機としたいと考えます。また全国の青年会議所、先輩諸兄、行政、関係諸団体や市民と連携し、ネットワークの充実とメンバーの資質向上に繋げALL-JC、ひいてはALL-八戸をもって誘致を成功させるべく運動します。

このまちを考えたとき、それは単独で成り立つのではなく、行政枠に捉われない同じ生活圏である八戸広域や旧南部藩の地域としてお互いに支えあい成り立っています。そのなかで南部州デザイン会議や南部州各

地青年会議所との連携をさらに強化してまいります。この地域は太古の昔から豊かな自然に恵まれ様々な恩恵を受けてきました。世界的にも環境の悪化が問題視されるなか、このすばらしい自然を未来に残す為には何をすべきか考える必要があります。限りある資源環境だからこそ、調和を大切にした地域循環型の持続可能な社会を模索、実施していきます。

子どもは宝であり、私達は子ども達の可能性を十分に引き出す使命があります。子ども達の可能性という原石を磨くことは、未来のふるさとへの輝きに繋がります。「子は親の鏡」と言われるように、親の在り方は重要であり、同様に身近な大人や地域、世相もまた子ども達に影響を与えています。だからこそ、地域と共に学び育て、ふるさととの絆を深く感じられる事業を展開します。

まちの伝統であり誇りである八戸三社大祭は、山車製作の後継者不足や、引き子の減少などの問題を抱えています。八戸青年会議所として何が出来るのかを市民と共に考えていきたいと思えます。おまつり広場は八戸三社大祭の中日の活性化などを目的に開催され、市民参画実行委員会やボランティアと共に、年々市民の理解と協力を得ながら発展しております。本年はこれまで以上にまちを共に思い、行動する仲間の輪をより広げていきたいと考えます。

組織は一人ひとりの力で成り立ちます。それぞれが主体的に青年会議所の目的を真に理解し行動することで組織力を生み出します。一人が一步を踏み出せばそれは組織の一步となります。今一度青年会議所との出会いに感謝し、青年会議所と自分の可能性を結びつけることが必要です。更には使命感と責任感を自覚し、一人ひとりの「ラブはちのへ」を探求することが組織の初志を貫徹することに繋がるのです。

本年は「すべてはひとつ」という自他一如の精神をもって“己を高め、魂<sup>こころ</sup>を磨く”ことを念頭におき、人とまちの調和の実現に向けて共に行動していきましょう。

## 【重点テーマ】

人とまちの調和の実現

A L L - J C、A L L - 八戸運動の展開

## 【重点事業】

「第60回全国会員大会」主管立候補への取り組み

創立50周年に向けた企画と提言

(仮)「第31回おまつり広場」の開催

ふるさととの絆を深める青少年事業の開催

全員で取り組む会員拡大

公益法人格の取得を見据えた組織進化

# 2008 年度事業計画（案）

## 《運営室》

### 総務委員会

執行部と連携し、各委員会と調整をとりながら円滑に L O M を運営する。

- 総会、例会、理事会の運営
- 新年会、卒業式、忘年会の企画・開催
- 会員手帳の作成
- イントラネットの管理・運用
- 各種案内の発送
- 苫小牧 J C との交流会の窓口
- 議事録の作成

### 広報委員会

L O M 内外における情報の受発信を行う。また、広く青年会議所活動を周知する為、対外誌を企画・発行する。

- ホームページの管理・運用
- マスコミ諸団体との窓口
- L O M 事業の取材・記録
- 対外誌の企画・発行

## 《ひとづくり室》

### 会員開発委員会

会員拡大を実践すると共に組織の活性化を図る。また、青年会議所運動の使命・目的を果たす為、人材育成のセミナーを企画・開催する。

- 会員拡大と入会手続きの窓口
- セミナーの企画・開催
- 組織活性化事業の企画・開催
- 会員拡大と資質向上に関する提言書の策定

### ラブふるさと委員会

子ども達の可能性を引き出し磨くと同時に、地域と共に学び育て、ふるさととの絆を深く感じられる子どもを育む。

- ふるさととの絆を深める青少年事業の企画・開催
- わんぱく相撲への対応
- ふれあい実行委員会への協力
- 青少年育成に関する提言書の策定

## 《まちづくり室》

### おまつり委員会

市民と共に（仮）「第 3 1 回おまつり広場」を開催する。また、まちの伝統と誇りである八戸三社大祭の問題を市民と共に考え提言する。まちで活動する諸団体との連携を強化する。

- （仮）「第 3 1 回おまつり広場」の企画・開催
- 市民参画実行委員会との連携強化
- 市民参加型のおまつり広場の推進

まちで活動する諸団体との連携強化

八戸三社大祭並びにおまつり広場に関する提言書の策定

#### 南部州委員会

自然環境を持続する運動を展開し、広域まちづくりの具体的な行動指標を作成する。また諸団体・各LOMとの対話交流を通じた連携強化を図る。

広域まちづくり運動の企画・実施

南部州デザイン会議と南部州各LOMとの共同事業の企画・開催

地域循環型の持続可能な社会の提言書の策定

#### 《50周年準備室》

##### 50周年発信委員会

50周年に向けた記念事業の企画をする。また、市民に向けた(仮)08版「風と土と心」を制作する。50周年を広く市民に発信するため事業を企画・開催する。

50周年記念事業の企画

(仮)08版「風と土と心」の制作

50周年を広く市民に発信する事業の企画・開催

#### 未来構想委員会

これからのまちづくりを構想し、50周年に向けた記念誌を企画する。また、市民意識の調査・分析をする。

未来構想の策定

記念誌の企画・構成

市民意識の調査・分析

各委員会の提言書の取りまとめ

#### 《全国大会誘致室》

##### 全国大会誘致委員会

全国会員大会誘致に関する実務と渉外を担当し、メンバーの意識高揚を図ると共に、全員で取り組む誘致運動を推進する。

全国会員大会主管立候補に向けた招致理念及び開催計画(案)の作成

全国会員大会誘致の意識高揚

全国会員大会誘致に関する渉外の窓口

全国会員大会記念事業(案)の企画

#### 全国大会誘致特別会議

全国会員大会誘致を総合的に検討・実施する。また、全国大会誘致委員会と連携すると共に、全員で取り組む誘致運動を推進する実行組織を立ち上げる。

誘致運動の総合的な検討・実施

情報の収集と分析

その他必要事項

# 2008年度 一般会計 収支予算(案)

2008年1月1日から2008年12月31日まで

(単位:円)

科 目	2008年度予算 (当年度)	2007年度予算 (前年度)	増減	摘要
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
入会金収入				
入会金収入	600,000		600,000	入会金20,000円×30名(2008年度新入会員)
計	600,000		600,000	
会費収入				
正会員収入	17,360,000	17,500,000	140,000	正会員140,000円×124名(2008年度当初の会員数)
新入会員収入	3,150,000	2,800,000	350,000	新入会員140,000円×15名(1月入会目標数)140,000円/2×15名(1月以降入会目標数)
賛助会員収入	50,000	50,000	0	賛助会員10,000円×5名
終身会費収入	660,000	780,000	120,000	卒業生11名×60,000円
計	21,220,000	21,130,000	90,000	
事業収入				
登録料収入	0	0	0	
計	0	0	0	
補助金収入				
補助金収入	450,000	0	450,000	
計	450,000	0	450,000	
寄付金収入				
寄付金収入	0	0	0	
計	0	0	0	
雑収入				
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	60,000	60,000	0	
計	60,000	60,000	0	
他会計からの繰入金収入				
基金会計からの繰入金収入	0	0	0	
計	0	0	0	
事業活動収入計	22,330,000	21,190,000	1,140,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
a. 例会講師関係費	1,000,000	1,000,000	0	
b. 事業予備費	1,465,974	2,534,722	1,068,748	
c. 委員会事業費				
総務委員会	2,577,501			
広報委員会	79,388			
会員開発委員会	125,375			
ラフふるさと委員会	165,902			
おまつり委員会	588,821			
南部州委員会	21,916			
50周年発信委員会	29,485			
未来構想委員会	26,641			
全国大会誘致委員会	32,635			
計	3,647,664	3,407,778	239,886	
d. 大会登録料	2,233,000	1,490,000	743,000	大会登録料(全国大会10,000円×154名+地区大会登録料4,500円×154名 懇親会費別)
計	8,346,638	8,432,500	85,862	
管理費支出				
事務費支出				
事務局維持費	868,060	868,060	0	イ.賃料168,060 ロ.共益費150,000 ハ.光熱費550,000
倉庫賃料	315,000	315,000	0	イ.賃料 25,000円×1.05×12ヶ月
事務局員費	3,337,760	3,337,760	0	イ.基本給203,500円×12ヶ月 ロ.通勤手当5,000円×12ヶ月 ハ.精勤手当20,000円×12ヶ月 ニ.退職金引当金 商工会議所退職金制度 1,000円×4口×12ヶ月 ヘ.社会保険料303,888円 ト.福利厚生費200,000円
通信費	650,000	650,000	0	
消耗品費	550,000	700,000	150,000	
リース費	270,972	148,122	122,850	イ.コピー機13,440円×12ヶ月 ロ.FAX・プリンタ4,700円×12ヶ月 ハ.パソコン4,441円×12ヶ月
借室料	130,000	130,000	0	
慶弔費	150,000	150,000	0	
雑費	500,000	450,000	50,000	
インフォメーション関係費	310,000	310,000	0	
渉外費支出				
JIC間渉外	1,400,000	1,200,000	200,000	
諸渉外	200,000	200,000	0	
シニアクラブ運営協力金	330,000	390,000	60,000	30,000円×卒業生11名
次年度準備金	130,000	130,000	0	
計	9,141,792	8,978,942	162,850	
負担金支出				
JCI	212,520	211,133	1,387	JCI会費 1,380円×154名
日本JIC	860,000	835,000	25,000	日本JIC会費 基本額90,000円+付加金5,000円×154名
地区	236,000	228,500	7,500	地区 基本額5,000円+付加金1,500円×154名
ブロック	790,000	765,000	25,000	ブロック 基本額20,000円+付加金5,000円×154名
国際協力金	281,050	271,925	9,125	国際協力金 1,825円×154名
WE BELIEVE・JC-PRESS	462,000	447,000	15,000	WE BELIEVE・JC-PRESS 購読料3,000円×154名
出向者負担金	350,000	470,000	120,000	出向者負担金:イ.(社)日本青年会議所20,000円×13名 ロ.東北地区協議会東北セミナー委員会 10,000円×2名 ハ.青森7ブロック協議会7かみ-大学塾生 10,000円×7名(塾生)
南部州デザイン会議	50,000	50,000	0	
計	3,241,570	3,278,558	36,988	
他会計への繰入金支出				
特別会計への繰入金支出	600,000	100,000	500,000	
一般基金への繰入金支出	600,000		600,000	
計	1,200,000	100,000	1,100,000	
事業活動支出計	21,930,000	20,790,000	1,140,000	
事業活動収支差額	400,000	400,000	0	
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
固定資産取得支出				
什器備品取得支出	250,000	250,000	0	
投資活動支出計	250,000	250,000	0	
投資活動収支差額	250,000	250,000	0	
予備費支出	150,000	150,000	0	
当期支出差額	0			
前期繰越収支差額	0			
次期繰越収支差額	0			

# 2008年度 全国大会誘致運動特別会計 収支予算（案）

2008年1月1日から2008年12月31日まで

(単位：円)

科 目	2008年度予算 (当年度)	2007年度予算 (前年度)	増減	摘要
全国大会特別会計収支				
1. 事業活動収入				
一般会計繰入収入	600,000	100,000	500,000	
前年度繰越金	0	0	0	
事業活動収入計	600,000	100,000	500,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
a. 全国大会誘致事業費	100,000		100,000	ブース出店費
b. 現地調査対応関係費	250,000		250,000	バス・資料作成費・会場費
c. 誘致PRビデオ製作費	250,000		250,000	ビデオ製作費
計	600,000	0	600,000	
事業活動支出計	600,000	0	600,000	
事業活動収支差額	0		0	
予備費支出	0		0	
当期支出差額	0			
前期繰越収支差額	0			
次期繰越収支差額	0			

# (社)八戸青年会議所 2008年度年間スケジュール(案)

2008年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
総会・臨時総会	総会13日(日)						臨時総会16日(水)					総会14日(日)	
理事会	7日(月)	4日(月)	5日(水)	4日(金)	8日(木)	4日(水)	4日(金)	5日(火)	4日(木)	6日(月)	5日(火)・28日(金)	26日(金)	
総会・定例会	13日(日)	18日(月)	18日(火)	18日(金)	19日(月)	18日(水)	16日(水)	18日(月)	18日(木)	20日(月)	18日(火)	14日(日)	
八戸JC 三役会	15日(火)	20日(水)	19日(水)	21日(月)	21日(水)	19(木)	23日(水)	20日(水)	22日(月)	22日(水)	20日(木)	16日(火)	
常任理事会	24日(木)	26日(火)	26日(水)	28日(月)	27日(火)	27日(金)	28日(月)	27日(水)	26日(金)	28日(火)	26日(水)	22日(月)	
郵便物発送日	9(水)・28(月)	6(水)・28(木)	7(金)・28(金)	7(月)・30(水)	12(月)・29(木)	6(金)・30(月)	7(月)・30(水)	7(木)・29(金)	8(月)・29(月)	7(火)・30(木)	7(木)	2(火)・24(木)	
幹事会	9日(水)	7日(木)	10日(月)	8日(火)	13日(火)	9日(月)	8日(火)	8日(金)	9日(火)	8日(水)	8日(金)	4日(木)	
青森ブロック協議会	・役員会議 22日(火) ・会員会議所会議 [弘前] 26日(土) ・新春名刺交歓会		・役員会議 4日(火) ・会員会議所会議 [青森] 8日(土) アカデミー第2講座 [青森]	・役員会議 8日(火) ・会員会議所会議 [五所川原] 12日(土)	・役員会議 7日(水) ・会員会議所会議 [黒石] 10日(土)	・役員会議 3日(火) ・会員会議所会議 [三沢] 7日(土)	・役員会議 2日(水) ・会員会議所会議 [十和田] 5日(土) ・ブロック会員大会 [十和田]		・役員会議 9日(火) ・会員会議所会議 [むつ] 13日(土)	・役員会議 8日(水) ・会員会議所会議 [八戸] 18日(土)	・役員会議 4日(火) ・会員会議所会議 [未定] 8日(土) ・ブロック卒業式		
東北地区協議会	・正副会議11日(金) [仙台] ・役員会議・地区ナイ ト18日(金) [京都] ・会員会議所会議 19日(土) [京都]	・役員会議8日(金) [仙台] 9日(土)・10日(日)	・役員会議7日(金) [毛とみや] 1日(土)・2日(日)	・役員会議11日(金) [山形]	・役員会議9日(金) [弘前]	・役員会議13日(金) [とめ]	・役員会議11日(金) [秋田]			・役員会議5日(金) [天童] ・東北青年フォーラム 6日(土)~7日(日) [天童]	・役員会議3日(金) [江刺] ・正副会議20日(木) [仙台] ・役員会議27日(木) [塩釜]	・役員会議1日(土) [仙台] ・役員会議27日(木) [塩釜]	・役員会議2日(金) [仙台]
JCI・日本JC	・理事会 18日(金) [京都] ・ブロック会長会議 18日(金) [京都]	・理事会 16日(土) ・ブロック会長会議 16日(土)	・理事会 22日(土) ・ブロック会長会議 22日(土)	・理事会 19日(土) ・ブロック会長会議 19日(土)	・理事会 17日(土) ・ブロック会長会議 17日(土) ・ASPAC 22日(木)~25日(日) [韓国 釜山]	・理事会 21日(土) ・ブロック会長会議 21日(土)	・理事会 18日(金) ・ブロック会長会議 18日(土) ・サマーコンファレンス 19日(土)~20日(日) [横浜]		・理事会 20日(土) ・ブロック会長会議 20日(土)	・理事会 10日(金) [浜松] ・ブロック会長会議 10日(金) [浜松] ・全国会員大会 9日(木)~12日(日) [浜松]	・理事会 15日(土) ・ブロック会長会議 15日(土) ・JC世界会議 4日(火)~9日(日) [イントロネーダリア]	・理事会 6日(土) ・ブロック会長会議 6日(土)	